

道徳授業で使える 紙芝居レシピ

公益社団法人「小さな親切」運動本部 編
馬場喜久雄 監修

- 「小さな親切」運動と青少年の心の育成 …… 2
- 「紙芝居授業」とは？ …… 3
- これを準備して授業に臨む！ …… 4
- 紙芝居を活用した学習指導案
 - ① 『つなみのひ』 [低学年用] …… 6
 - ② 『まつりのひ』 [中学年用] …… 9
- こんなとき、どうすればいい？
紙芝居授業に関わるQ&A …… 12
- 「てらこあん」を
便利に使いこなす …… 14



「小さな親切」運動と 青少年の心の育成

昭和 38(1963) 年、「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をスローガンに「小さな親切」運動本部は発足しました。以来 57 年間、特に「青少年の豊かな心づくり」を目指し、様々な実践活動に取り組んでまいりました。

平成 19(2007) 年からは、さらに学校教育の場においても「親切の心」「生命を大切に作る心」「お互いに尊重し合う心」を伝えていきたいと、紙芝居による「心の教育」プロジェクトをスタート。教育現場の先生方にご協力いただき、運動本部主催の作文コンクールやエッセイコンテストの入賞作品を原案としたオリジナル紙芝居を制作するとともに、これに対応した教育プログラムを作成いたしました。

そして平成 23(2011) 年の東日本大震災発生時に、改めて「人と人とのつながり」「助け合い」の大切さを実感した私たちは、被災地取材を基にした新たな紙芝居『つなみのひ』を制作。小学校での講師派遣型道徳モデル授業を行ってまいりました。地域組織と共に推進してきた中で、これまでの実施校は全国 103 校に上ります。

学校現場や教育関係者からも好評の「紙芝居授業」を、より多くの先生方に行っていただきたいと、本書では、紙芝居の扱い方や準備の仕方、学習指導案などを紹介しています。お読みいただだけですぐに授業ができる内容となっておりますので、ぜひご活用ください。



これまでに講師派遣の授業を実施した学校

北見市立常呂小学校／青森市立橋本小学校／鹿角市立大湯小学校／山形市立千歳小学校／山形市立第八小学校／山形市立みはらしの丘小学校／鶴岡市立藤島小学校／米沢市立南部小学校／米沢市立広幡小学校／酒田市立浜田小学校／新庄市立新庄小学校／新庄市立日新小学校／新庄市立沼田小学校／新庄市立萩野学園／寒河江市立白岩小学校／寒河江市立南部小学校／寒河江市立柴橋小学校／上市市立中川小学校／長井市立豊田小学校／天童市立北部小学校／東根市立神町小学校／高畠町立屋代小学校／福島市立北沢又小学校／さいたま市立浦和別所小学校／新座市立東野小学校／旭市立鳴鳴小学校／御宿町立御宿小学校／江東区立第四大島小学校／江東区立第二辰巳小学校／世田谷区立烏山小学校／世田谷区立烏山北小学校／世田谷区立奥沢小学校／世田谷区立花見堂小学校／世田谷区立砧小学校／世田谷区立給田小学校／世田谷区立京西小学校／世田谷区立代沢小学校／世田谷区立代田小学校／世田谷区立東深沢小学校／渋谷区立加計塚小学校／中野区立塔山小学校／杉並区立井荻小学校／杉並区立馬橋小学校／杉並区立桃井第四小学校／杉並区立荻窪小学校／杉並区立四宮小学校／杉並区立和泉小学校／豊島区立池袋第一小学校／豊島区立朝日小学校／荒川区立第四峡田小学校／練馬区立中村西小学校／練馬区立光和小学校／練馬区立大泉東小学校／町田市立町田第一小学校／西東京市立向台小学校／永平寺町立御陵小学校／越前町立織田小学校／静岡市立駒形小学校／静岡市立清水岡小学校／静岡市立清水中河内小学校／静岡市立東豊田小学校／静岡市立美和小学校／私立静岡サレジオ小学校／浜松市立佐藤小学校／浜松市立新津小学校／浜松市立舞阪小学校／浜松市立芳川北小学校／沼津市立香貫小学校／沼津市立第三小学校／熱海市立桃山小学校／三島市立西小学校／島田市立島田第二小学校／富士市立富士小学校／磐田市立福田小学校／焼津市立東益津小学校／掛川市立中小学校／藤枝市立高洲南小学校／袋井市立三川小学校／下田市立下田小学校／湖西市立白須賀小学校／豊田市立青木小学校／桑名市立大和小学校／京田辺市立草内小学校／呉市立宮原小学校／府中市立旭小学校／府中市立国府小学校／高松市立高松第一小学校／周南市立沼城小学校／周防大島町立久賀小学校／周防大島町立城山小学校／都城市立東小学校／都城市立梅北小学校／鹿児島市立西陵小学校／鹿児島市立田上小学校／鹿児島市立八幡小学校／南九州市立知覧小学校／始良市立可鴨浦生小学校

「紙芝居授業」とは？

● 紙芝居の特徴

紙芝居は、絵と読み手が一体となって物語を展開します。読み手は、聞き手の反応によって話し方やテンポを変えるなど、コミュニケーションを取りながら話を進めていきます。そのため、聞き手は集中して物語の世界に入り込み、よりその内容に共感することができます。

● 「紙芝居授業」の流れ

そんな効果的な教材である紙芝居を活用した授業を、本書では「紙芝居授業」と呼びます。紙芝居授業の流れは簡単。①本時のねらいへの関心を持たせる ②紙芝居を読む ③教師から発問する ④児童の発言を引き出す ⑤発言を取りまとめ、ねらいに沿ってまとめる。この 5 ステップで授業が行えます。

● 全学年対応の学習指導案

授業に必要な学習指導案は、教育現場の先生方にご協力いただき、低・中・高学年のそれぞれに対応したものを作成しました。授業中に子どもたちが振り返りやすくなるような板書用の補助教材も作成しましたので併せてご活用ください。

● 紹介する紙芝居について

運動本部オリジナル紙芝居は、全て実際の話が基になっておりますが、本書で取り上げる『つなみのひ』『まつりのひ』も東日本大震災の被災地取材内容をベースにした作品です。『まつりのひ』は、文部科学省の教育映像等審査制度において、学校教育教材（低・中学年児童向け）及び社会教育教材（少年向け）の選定を受けています。2 作品はそれぞれが独立した物語ですが、連作として活用いただくこともできます。



文部科学省
選定作品！



震災直後の被災地取材を基にした作品。津波に襲われたどうぶつ村を舞台に、人を思いやる気持ちや助け合うことの大切さを伝えます（詳しくは 6p）。



震災から約 5 年後の被災地取材を基にした作品で、『つなみのひ』から数年後のどうぶつ村が舞台となっています。村祭りを通して、主人公たちが支えあい成長していく姿を描きます（詳しくは 9p）。

これを準備して授業に臨む！

まずは、青少年教育専門サイト
「てらこあん」で必要なものを準備しましょう

全て無料
ダウンロード
できます

Web サイトてらこあんの学校で学ぼう (<https://www.kindness.jp/kids/school>) から、
「紙芝居がオススメ！」を選んでください。

●紙芝居

- ① 紙芝居を選んで表面と裏面をダウンロード
- ② コピー用紙 (できれば B4 以上) にカラーで印刷
- ③ 厚手の紙 (ボール紙など) に表面を貼りつける
- ④ 順番を間違えないように*1 裏面も貼りつける

●補助教材

- ① イラストをダウンロード
- ② コピー用紙にカラーで印刷
- ③ 厚手の紙にイラストを貼りつけ、形を整える
- ④ 裏面にマグネットを貼りつける*2

●学習指導案

全学年のそれぞれに対応した指導案の中から、該当
学年のものを選んで印刷
☆どれが必要か分からない場合は、「全部ダウンロード」から一括でダウンロードができます

※1 例えば、表紙 (1 枚目) の裏面には 2 枚目の文章を貼る

※2 ③の状態でも OK。その場合は、使用するときに随時マグネットを使う

てらこあん 紙芝居

検索



舞台活用で 子どもの集中力もアップ

紙芝居がぶれてしまったら、せっかくの子どもたちの集中が途切れてしまいます。できれば舞台を用意してください。市販の舞台を使うのが一番いいですが、ない場合は即席舞台を作ってもよいでしょう。作る時間が取れないという場合には、譜面台を活用してみてください。両手が見えるので、紙芝居も楽に読むことができます。

即席舞台の作り方…

- ① 高さの合う机を用意 (教卓で OK、低いものしかない場合は、机の上に台などを置き高さを調整)
- ② その上から布をかける。テーブルクロスを敷くイメージ

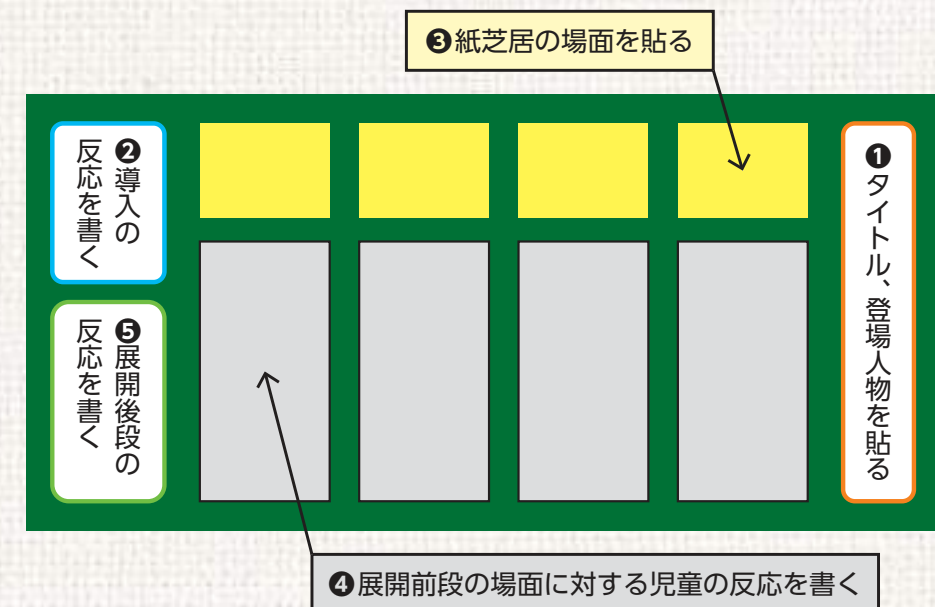


講師派遣の紙芝居授業では大型舞台を使用しました

手で紙芝居を持つときは、絵が隠れてしまわないように注意しましょう！

準備が整ったら、最後に 板書計画を確認しましょう

授業の最後に、黒板を見れば 1 時限の内容が一目で分かるように、計画的に板書をしましょう。上部に場面絵を貼り、下部にそれに対する児童の反応をまとめると、とても見やすくまとまります (図参照)。



実際の授業の板書例1：東京都江東区2年生



実際の授業の板書例2：埼玉県さいたま市4年生

紙芝居『つなみのひ』を活用した学習指導案

低学年用

次ページでは低学年用の学習指導案をご紹介しますが、Web サイト「てらこあん」から全学年の学習指導案がご覧いただけます

紙芝居『つなみのひ』の概要



東日本大震災発生当時の話を基に描いた作品。
動物たちが暮らす村を舞台にして、災害時におけるコミュニケーションの大切さや、他者を思いやる心を伝えます。



② 海辺で仲よく釣りをしているコタローとポンタ



③ 突然、大きな地震と津波が二人を襲います



④ ポンタとはぐれたコタローは、漁師のおじさんに助けられます



⑤ おじさんの背中から見た村は変わり果てた姿に



⑥ 多くの村人で避難所は大混乱



⑦ お母さんとの再会を喜びコタロー。でもお父さんは…



⑧ 大人たちが食べ物を巡って言い争いを始めてしまいます



⑨ 空気を和らげたのは村祭りで踊る「どうぶつ村音頭」でした



⑩ 村長の「今は助け合おう」の言葉にお互いの非礼を詫言て和解する大人たち



⑪ それぞれができることをし、コタローもまた懸命に手伝います



⑫ 行方不明の村人たちが見つかり、みんなで協力して救助に向かいます



⑬ 再び一緒に遊ぶコタローとポンタ。村人たちも村の復興を目指します

『つなみのひ』道徳科学習指導案〔低学年用〕

1. 主題名

助け合って仕事をしよう C 勤労、公共の精神

2. ねらいと教材

ア、ねらい 助け合って仕事をするよさを感じ、みんなのために働こうとする心情を養う。

イ、教材名 つなみのひ
(紙芝居…(公社)「小さな親切」運動本部)

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

仕事に対して、誇りや喜びを感じながら、みんなのために働こうとする心を持った児童を育てる内容項目である。

この時期では、働くことに楽しさや喜びを感じる児童も多い。働くことの大切さを感じ取らせ、助け合って、みんなのために働こうとする心を持たせることが大切である。

(2) 児童の実態

音楽科では、合唱や合奏の時に力を合わせるよさを、体育科の時には、協力して準備することの大切さを、当番活動では、助け合うよさを指導してきた。

その結果、「働くことのよさを知り、みんなのために働くことが多い」と考える児童が増えてきたが、まだまだ「働くことのよさ知ってはいるが、みんなのために働くことが少ない」傾向の児童もいる。

(3) 教材の特質と活用の工夫

コタローとポンタは仲のよい友達である。いつものように仲よく釣りをしていると、大地震が起き、やがて津波に襲われ、二人は離ればなれになってしまう。漁師のおじさんに助けられたコタローは、避難所の小学校でお母さんに会うが、お父さんが行方不明だと知る。

避難所はぎすぎすした雰囲気であったが、笛名人のピッコロのおかげで、元気を取り戻し、村人たちは自分たちにできる仕事をみんなのために始めるのである。そしてカモメの捜索隊から、行方不明の人々が沖合の島で見つかったと聞き、迎えるに行くためにみんなで協力して大きな筏を作る。その筏で、お父さんもポンタも無事に戻ってくることができ、再び二人は仲よく遊ぶのである。

本教材は、みんなで、みんなのために協力して働いたことで、海に流された人たちを無事に助けられたということを感じ取ることができる教材である。

「助け合い」、「協力」を主題として学習し、ねらいへ迫りたいところだが、低学年の内容項目にはそれがないので、「人のために働く」という内容で進め、また、自分が一番心に残ったところと、それはなぜか、ということ話を合わせることで、働くことの意義を感じ取らせたい。





4. 学習指導過程

主な発問と予想される児童の反応		指導上の留意点（・）、評価（☆）
導入	1. 誰かと助け合った経験を発表する。 ○誰かと助け合って仕事などをしたことはあるか。 ・助け合って掃除をした。 ・みんなで協力して、運動会のダンスをした。	・身近な仕事を思い出させて、問題意識を持たせる。
	2. 教材「つなみのひ」を視聴して、話し合う。 ①紙芝居をみて、一番心に残ったところはどこか。 ア、小学校で、それぞれの仕事をしているところ。 イ、おにぎりのことで、言い争っているところ。 ウ、おにぎりを多くとったおじさんも、子どもたちのために多くとったこと。 エ、みんなで島まで助けに行くこと。 オ、コタローとポンタが、楽しそうに話しているところ。 ②どうしてそこが心に残ったのかを話し合う。 ア、みんなが、自分にできる仕事をしっかりしているから。 イ、こんなときに、けんかするなんて大人げない。 ウ、おにぎりを多くとったのかなと思ったけど、それは子どもたちのためだったから。 エ、仲間を迎えに行くために協力しているから。 オ、早く元の海に戻ってほしいという気持ちがよくわかるから。	・紙芝居で教材を提示する。 ・紙芝居を一人で読むのではなく、コタローとポンタの役を分けて、二人でやることも効果がある。 ・自分が心に残ったところをしっかりとと言えるように、物語を少し振り返る。 ・なぜそこが心に響いたかを自分というとともに、友達との比較をする。 ・多面的・多角的にとらえさせる。 ☆助け合って仕事をしてよかったことを感じているか。
展開	3. 助け合って仕事をしたときの気持ちを発表する。 ○助け合って仕事をしてよかったことはあるか。 ・掃除当番を協力してやって、とてもきれいになった。 ・給食当番が早く上手にできた。	・助け合って仕事をしたとき、みんなの役に立ったことを感じさせる。 ☆働くことのよさを自分との関わりで考えているか。
	4. 教師の話聞く。 ○助け合って仕事をしたことが、みんなのために役立った経験とそのときの気持ちを話す。	・助け合って仕事をするっていいんだなあという気持ちを持たせる。
終末		

※展開内①のア、は②のア、に対応。以降も同様です。



紙芝居『まつりのひ』を活用した学習指導案

中学年用

次ページでは中学年用の学習指導案をご紹介しますが、Web サイト「てらこあん」から全学年の学習指導案がご覧いただけます

紙芝居『まつりのひ』の概要



東日本大震災発生から約5年後の話を基に描いた作品。大津波を経験した村を舞台に、転入者との触れ合いを通じて、協力し合うことや困難を乗り越えることの大切さ、郷土を愛する気持ちを育んでいく姿を描きます。



②新しい友達のキュウスケが転校してきます



③コタローがキュウスケを村散策に誘いますが、海辺が怖いポンタは一緒に行きません



④津波に襲われた時の話をしながら村案内をするコタロー



⑤本当はまだ少し怖いけど、今は前向きになったと話すコタロー



⑥コタローは漁師のおじさんに村祭りでどんな出し物をするのかと聞かれます



⑦コタローはキュウスケを村祭りに誘います



⑧津波以後、初めて行う村祭りのために練習する村人たち



⑨ポンタに教えてもらいながら苦手な変身の練習をするキュウスケ



⑩村祭り前日になっても変身が上手いかわず悩むキュウスケ



⑪それぞれの困難や苦手を乗り越えて村祭りの舞台に立つことができました



⑫出し物は大成功！達成感に満たされ村祭りを楽しむ三人



『まつりのひ』道徳科学習指導案〔中学年用〕

1. 主題名

ふるさとのために C 伝統と文化の尊重 国や郷土を愛する態度

2. ねらいと教材

ア、ねらい 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心情を育てる。

イ、教材名 まつりのひ

(紙芝居…(公社)「小さな親切」運動本部)

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自分が生まれ育った郷土は、その後の人生を送るうえで心のよりどころとなるなど大きな役割を果たすものである。

この段階においては、郷土に対する理解も深まり、地域の行事や活動にも興味を持つようになり、郷土の素晴らしさを実感できるようになる。この時期に、様々な活動を通して地域に親しみを感じ、愛そうとする心情を育てたい。

(2) 児童の実態

社会科では、地域の学習の中で郷土の行事などに興味を持つようになったり、音楽科では、「ふじ山(3年)」「さくらさくら(4年)」を歌うときに、故郷を感じさせたりしてきた。

日常生活では、地域の祭りに積極的に参加する児童も増えている。

(3) 教材の特質と活用の工夫

本教材は、津波の被害を受けた村で、復興のためにみんなが頑張っている姿を描いたものである。転校生の気持ち、津波の怖さをまだ感じている友達の気持ち、復活を目指す村のみんなの気持ちを考えさせながら、郷土を大切にしようとする気持ちを持たせるのにより教材である。

漁師のおじさんに、祭りの出し物が決まったかと聞かれ、困った顔をしたコタローの気持ちを自分との関わりで考えさせ、転校生のことや、津波のことで気が重くなっている友達のことを考えて、悩むことをいろいろ出させる中で、話し合いを深めて、ねらいとする価値についての自覚を深めていく。



4. 学習指導過程

	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点(・)、評価(☆)
導入	1. 今住んでいる街のいいところを発表する。 ○皆さんの街には、どんないいところがあるか。 ・自然がきれい。 ・みんなが優しい。	・今住んでいる街のいいところに気付け、ねらいとする価値に対しての問題意識を持たせる。
	2. 教材「まつりのひ」を視聴して、話し合う。 ①コタローは、どんな思いで、キュウスケを街に案内したか。 ・大変な津波があったけどみんな頑張っている。 ・海も、怖かったけど、こんなにきれいなんだ。 ②おじさんに、村祭りのことを聞かれて、困ったなと思っているコタローの心の中はどんなか。 ・村祭りを成功させたい。 ・ポンタを上手く説得して、一緒にやりたい。 ・ポンタは、一緒にやってくれるかな。 ・ポンタがいやだっていったら、僕もやめようかな。 ③みんなが、動物音頭を練習している姿を見て、コタローはどんな気持ちだったか。 ・みんな頑張っているな。 ・僕も頑張らなくては。 ④3人でやった、物まねイリュージョンが成功したとき、コタローは、どんな気持ちだったか。 ・やれてよかった。 ・少しは、村の役に立ったかな。 ・早く、村が元通りになるといいな。	・紙芝居で教材を提示する。 ・コタローのふるさとに対する思いについて考えさせる。 ・コタローに共感させ、いろいろな考え方をださせて話し合わせる。 ☆コタローに自我関与し、自分の感じたことを基に話し合っているか。 ・村のために頑張っている姿を、自分との関わりで考えさせる。 ・村のためになった喜びを、自分との関わりで考えさせる。
展開	3. 自分の街に貢献することにどんなことがあるか発表する。 ○自分の街で、どんなことが役立つだろう。 街のためにやっていることはあるか。 ・地域清掃に参加している。 ・みんなに挨拶している。	・自分の住んでいる街を大事にしようとする気持ちを持たせるだけでもよいが、街のために役立つという気持ちを持たせたい。 ☆自分の住んでいる街でどんなことが役に立つか考えているか。
	4. 教師の話を聞く。	・自分のふるさとについて話をする。
終末		

こんなとき、どうすればいい？

紙芝居授業に関するQ&A

授業を行った学校で、先生方から実際にいただいた質問に、本書監修の馬場喜久雄先生がお答えします

Q. 紙芝居を読むときに気を付ける点がありますか。

A 常に子どもの反応を見ながら、読んでいきましょう。ゆっくり読んだり、抜き方を工夫したりします。また、後の授業の流れを考えて、特に感情表現を豊かにしたり、逆に、淡々と読むときもあります。子どもが紙芝居を見る位置も大事ですね。

Q. 児童の発言がうまく引き出せません。どうしたらよいですか

A まず、数人を指名し、発言を分類整理して板書し、分類したそれぞれに違う色のカードを貼ります。児童には全ての色カードを持たせて、自分と同じ気持ちや考えの色カードを出させます。発言ができなくても、カードだと全員が意思表示をしてく

れます。発言が少なく分類しづらいときは、こちらからこんな意見もあるのでは、と示してもよいでしょう。

Q. どうしたら議論を活発に進めることができますか

A (上記のように) 色カードで意見を示した後、なぜその色にしたのかと聞きます。(低学年だとこの辺までですが) その後、自分と異なる色を出した人に質問をしてもらい、そして、意見交流へとっていきます。低学年の場合、まず話を教えてもいいでしょう(「あなたと僕は、ここが同じで、ここが違います。質問があります」など)。

Q. 発問に対し同じ意見ばかりが出てしまい、目指すまとめにたどり着きません。どのようにまとめていけばよいですか

A 同じ意見でも、ねらいとする価値からずれていなければ、そのまままとめて構いません。ねらいからずれたり、話し合いにならない場合は、問い返しの発問などをして揺さぶったり、隣の人と意見を交わさせたりしてみましょう。

Q. 発言が多岐にわたり時間内にまとまらない場合は、どのようにすればよいのでしょうか

A 考えがいろいろあることを抑え、展開後段では、それを基に自分の生活を振り返らせます。あるいは、まとまりそうな場面で発問をして、まとめとしてもよいでしょう。

Q. 児童数が少ないため、複式学級です。異学年が一緒でも授業ができますか

A 学年というのは、便宜上、4月生まれから3月生まれを一つの学年にしています。ですから、例えば、2年生の3月生まれと1年生の4月生まれはほとんど変わりません。一方、2年生の4月生まれと1年生の3月生まれは、相当違います。そこを意識して授業を進めていけば、十分授業ができます。

Q. 特別授業のときに複数学級合同で実施したいのですが、注意する点がありますか

A 学級ごとに、発言が多い・少ないなど違いがあると思います。どちらの担任が主の授業者にな

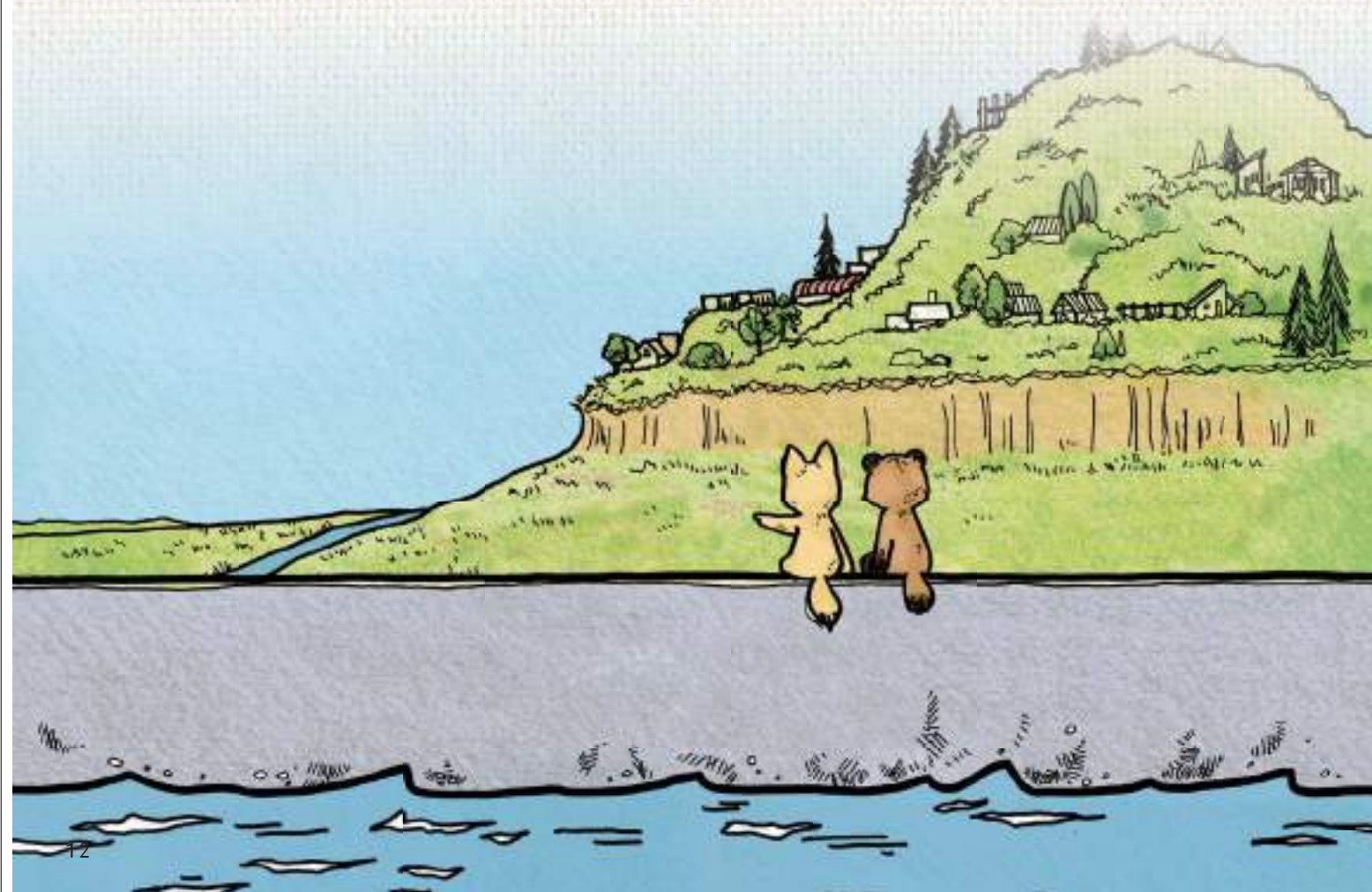
る場合でも、互いの指導法を理解し進めていくことが大切です。発言が少ない場合には、担任の先生に指名をしてもらったり、助言をもらうなど、手伝ってもらうことも一つの方法です。

Q. 連作としても使えるとのことですが、どのように活用すればよいですか。また、連作のメリットは何ですか

A 私自身、連作を意識して使用したことがあります。同じ児童に対し『つなみのひ』の授業から2年後に、『まつりのひ』で授業を行いました。自分たちも様々な経験を重ねているので、登場人物の気持ちに共感して意見を延べることが多く、話し合いが充実しました。同学年で2作品を使用することもできますが、その場合は少し間隔を空けるといいと思います。

Q. 道徳科の授業ではどのように評価をつければよいですか

A 道徳科の評価は、到達度評価や相対評価ではなく、個人内評価です。また、道徳性の評価はしませんし、成績でもありません。学習状況と、道徳性に係る成長の様子を評価します。よって、次のような文末で表していきます。「～についてよく考えています」「多面的多角的に考えています」「自分のことをよく見つめています」「自分事として考えています」などです。



「てらこあん」を便利に使いこなす

青少年教育専門サイト **てらこあん** は、「あそび ときどき まなび」をテーマに、学校の授業に役立つコンテンツやおうちでの時間を楽しめるコンテンツなどを掲載しているポータルサイトです。紙芝居授業に活用いただける様々な情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

「学校で学ぼう」の
ページで公開中!

●紙芝居を無声動画で紹介

『つなみのひ』『まつりのひ』の日本語版と英語版をご覧ください。

●紙芝居授業の実施レポート

これまで行った授業の様子や子どもたちの発言などをまとめたレポートです。

●子どもたちや先生の感想

実施校から届いた子どもたちの感想文や、先生の感想をご紹介します。

●事後研究会の実施レポート

紙芝居授業後に、先生方を対象に事後研究会も実施しています。

●実際の授業動画 (2021年1月公開予定)

福井県福井市で行った『つなみのひ』を使った紙芝居授業の様子を動画で公開予定。

●東日本大震災関連のお話

紙芝居制作のためにうかがった被災地でのお話や、「災害文化」という考え方などを紹介しています。道徳以外の授業でもご活用いただけます。

てらこあん
はこちら

<https://www.kindness.jp/kids/>

心の育成に役立つ紙芝居

本書で紹介した紙芝居2作品のほか、「親切」がテーマの運動本部主催の作文コンクールやエッセイコンテストの入賞作品をもとに制作したオリジナル紙芝居も掲載しています。こちらもあわせてご活用ください!

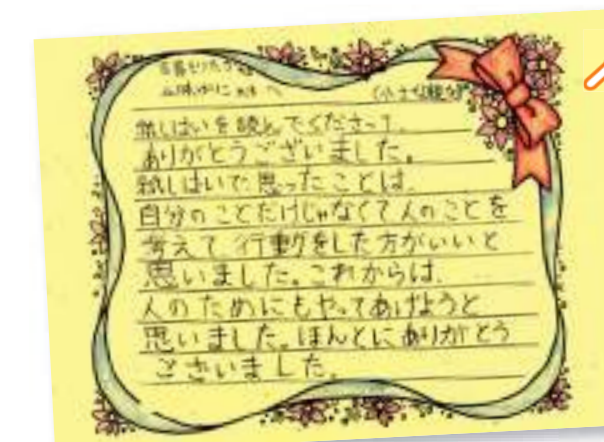
●授業で使える、学習指導案付



子どもたちからこんな感想が
寄せられています

『つなみのひ』の授業を終えて

ぼくは、つなみの話を聞いてものすごくこわくなりました。つなみがもしここにきたら、ぼくはどうすればいいのかが、すこしわかりました(3年生)



(3年生)



直筆の手紙で届いた感想

『まつりのひ』の授業を終えて

コタローの気持ちを深く考えることで、いろんなみんなの意見をふまえて自分の意見を持つことができました。私も地元の伝統文化に入っていきたいと思っています(5年生)

「小さな親切」運動とは

1963年6月13日、東京大学総長の茅誠司が初代代表となり、「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をスローガンにスタート。現在は元文部科学大臣の鈴木恒夫が6代目代表を務める。全国32道府県本部・137町村支部、また16万人の会員とともに、地域で青少年の心を育むさまざまな活動を行なっている。

● 監修

馬場喜久雄（ばば・きくお）

竹早教員保育士養成所講師／全国小学校道徳教育研究会 顧問

東京都内の小学校で学校長を歴任、一般財団法人総合初等教育研究所 室長を経て現職。「小さな親切」運動本部 紙芝居授業推進委員として紙芝居授業の講師を務め、自身のYouTubeチャンネル『音と道』ではその様子を紹介している。



道徳授業で使える 紙芝居レシピ

令和2年12月25日発行

監 修

馬場喜久雄

発行者

公益社団法人「小さな親切」運動本部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4

TEL 03-3263-2866 FAX 03-3263-3838

URL <https://www.kindness.jp/>